

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



明けましておめでとう
ございます。かわら版も
十三年目に入りました。
今年もどうぞよろしくお
願いします。

さて、昨年から「三
法印(さんぼういん)」あ
るいは「四法印(しほう
いん)」と言われるお釈迦
様の教えについてお伝え
しています。

教への第一は「諸行無
常」、第二は「諸法無我(し
よほうむが)」でした。今
月は「一切皆苦(いっさい
かいく)」と「涅槃寂静(ね
はんじやくじょう)」です。
仏教では「苦」とは思
いどおりにならないこと
を指します。たしかに、
どんなことでも思いどお
りにならないと苦しいで
すよね。生きることに「苦
はつきもの」です。
そして、老・病・死。い
ずれも避けることはでき
ません。生・老・病・死
が自分の思いどおりにな
らない。だから「苦」な
のです。
なぜ思いどおりになら

ないのでしょうか。それ
は、全てのものが「諸行
無常」で「諸法無我」だ
からです。ここで、第一
の教えと第二の教えが関
係してきます

永遠不変なものはなく、
全てのものは変化する。
だから「一切皆苦」なの
です。

あらゆる「苦」は人間
の欲や執着、つまり煩惱
に起因します。煩惱がな
くなれば「苦」もなくな
ります。煩惱から解放さ
れた心静かな状態が「涅
槃」。悟りと言ってもいい
でしょう。

煩惱に煩わされない悟
りを開くこともあれば、
死によって悟りに至る場
合もあります。煩惱の根
源である肉体がなくなれ
ば煩惱もなくなるからで
す。そういう状態のこと
を「涅槃寂静」と言いま
す。

「諸行無常」「諸法無我」
で「一切皆苦」「涅槃寂静」
を除いて「三法印」。仏教

の教への最も基本となる
考え方です。

政治や政策は須(すべ
か)らく生・老・病・死
に関係していません。自分
の生業(なりわい)を盛
んにするために様々なこ
とを政治や行政に期待し、
老・病・死から逃れるた
めに医療や介護や年金の
充実を求めます。

財源が無限にあれば何
でもできます。しかし、何
かを我慢してそうした政
策の実現を求めると言
えば、何かを我慢するこ
と自体が「苦」。だから我
慢もできません。

さてさて、人間とはか
くも厄介なものです。政
治や社会を良くするには、
かくも厄介な人間が、「四
法印」や「三法印」を道
標に、少しでも賢くなる
ことが肝要です。

今年も少しでも賢くな
れるように精進したいと
思います。一年間、どう
ぞよろしくお願ひします。

※



かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田
大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣、元厚生労働副大臣。地
元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執
筆しています。今年で、足かけ13年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早
稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

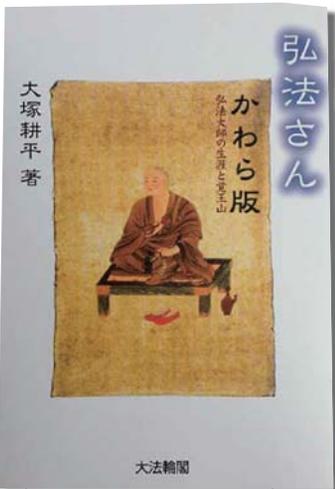
覚王山版の第1号から第
78号は、2008年に大法輪
閣から本になって出版され
ました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401



2014

人間が賢くなるのが肝要

今年も少しでも
賢くなるように精進します。
一年間、よろしくお願ひします。



Yoshi